

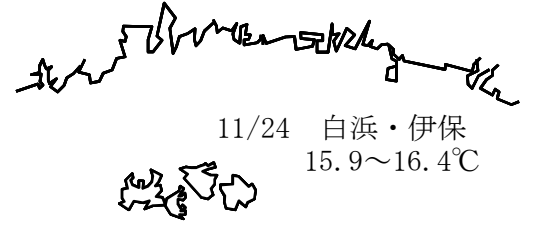
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 5号)

平成29年11月28日発行
 兵庫のみ研究所

地先漁場の一部海域で前回調査同様、多種多様な珪藻が多く確認されました。それ以外の海域においては、珪藻の発生量は比較的少なく窒素も平年より高い値となっています。沖合漁場では、珪藻は散見される程度と少なく窒素は7~8 $\mu\text{g at / L}$ と平年より高い値でした。

(栄養塩、珪藻) 網干漁場においては珪藻がかなり多く、ユーカンピアも増加しており窒素は2 $\mu\text{g at / L}$ であった。伊保・白浜漁場においても珪藻が多く発生量が増加傾向にあるが、窒素は5~6 $\mu\text{g at / L}$ であった。苅屋漁場のサンプルには繊毛虫のメソディニウムが大量に見られ、窒素が特異的に低かった。それ以外の地先漁場では例年と比較し珪藻は少なく、窒素も9~10 $\mu\text{g at / L}$ と高い状況であった。沖合漁場においては前回(11/17)調査と比較し珪藻は全般に減少している。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	3.7	7.1	6.7	4.6
	リン	0.40	0.64	0.68	0.49
家島・坊勢	窒素	6.0	8.0	5.4	5.9
	リン	0.75	0.81	0.70	0.69

(11/17) (11/29)

栄養塩 (窒素) 図

平成29年11月28日調査

